



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ダルフル平和維持要員の死亡

(5月8～9日付現地各紙)

1. 5月8日付報道

- (1) 国連 UNAMID (国連アフリカ連合ダルフル派遣団) は、エジプト軍の平和維持要員がダルフルで襲撃を受け、2名が死亡、3名が負傷したと発表した。声明の内容は以下の通り。
  - (イ) 5月7日、車両3台、人員20名からなる UNAMID エジプト部隊の車列が、南ダルフルで正体不明の武装グループから無警告かつ無差別の射撃による襲撃を受けた。
  - (ロ) 武装グループは、部隊が反撃を開始した時点で逃走したが、平和維持要員2名が死亡し、3名が深刻な怪我を負った。
- (2) 在スーダン・エジプト大使館の領事は、当初の情報から判断して、武装グループが地域の著名な武装グループとは何ら政治的・思想的繋がりのないごろつき集団であろうとの見解を示した。また、この襲撃がエジプトを特定して狙ったものか否かを判断するのは時期尚早であると語った。
- (3) 在スーダン・エジプト大使館付き武官が、本事件の全容を解明するためにスーダン政府当局と接触中であり、スーダン政府は、これに全面的な協力を約束している。
- (4) アブルゲイト・エジプト外相は、本事件の発生を強く非難すると共に、犯人特定のため、エジプト部隊司令部とエジプト大使館がスーダン政府当局と協力するよう指示を出した。
- (5) 国連安全保障理事会も、本事件の発生を強く非難すると共に、正義の必要性を強調した。安保理議長のレバノン国連大使は、エジプト政府及び遺族に対し安保理の深い弔意を伝えると共に、UNAMID の平和維持要員への全面的支援を表明した。
- (6) エジプト軍の代表団が7日、死亡した2名の要員の葬儀出席のためにカイロを出発した。

2. 5月9日付報道

- (1) 8日、死亡したダルフル平和維持要員2名の葬儀が、国際機関やエジプト軍からの

参列を得て、UNAMID の駐屯地で執り行われた。

- (2) 重傷を負った 3 名の要員は、南ダルフールの Nyala に空中輸送され、現在は安定した状態となっている。
- (3) ムバーラク大統領は本事件に関し、リビアのカダフィ指導者から弔意の電話を受けた。
- (4) 国際連合は 8 日、本事件の非難声明を発出した。